

## 9月定例会補正予算審査

新型コロナウイルス感染症対策関係、原油価格・物価高騰対策関係等の補正予算を審査しました。

◆令和4年度高山市一般会計補正予算第5号  
約7億3千万円

### 新型コロナウイルス対策関係

- ・国内観光、海外誘客プロモーション事業
- ・ふるさと暮らし・移住促進事業補助金の増額
- ・関係人口創出・短期人材受入支援事業
- ・地域買い物支援事業

### 原油価格・物価高騰対策関係

- ・公共施設の電気使用料、燃料費等の増額
- ・下水道事業会計負担金等の増額
- ・障がい福祉サービス事業所、介護保険事業所等へのサービス継続支援
- ・水稻肥料価格高騰対策事業
- ・自給飼料生産拡大支援事業

### ■主な質疑

**問** 地域買い物支援事業は移動スーパーの実施に必要な自動車費用を助成するものだが、移動スーパーの現状と見込、今後の買い物弱者への対策は。

**答** 移動スーパーは、5事業者により7台が運行され、支所地域では、丹生川・荘川・高根を除いた地域で運行されている。また、既にこの補助制度を使って事業を実施したいとの意向を伺っている。



地域により状況は様々なので、地域の皆様と話し合い、その地域にどういう買い物支援のあり方がいいのかしっかりと捉え考えていく。

**問** 水稻肥料価格高騰対策事業は、国の事業の要件を満たさない市内水稻生産者への市の単独助成だが、国の事業から外れるのはどういう方で、何件くらいを想定しているか。

また、蔬菜類については、高騰分の1/2は国から助成されると確認して進めているのか。

**答** 国の事業の対象には、5名以上のグループ化と化学肥料を低減する取組を2つ以上行う要件があり、小規模な水稻生産農家は対象にならないことや米の概算金下がっていることも考慮した。

国の事業から外れる市の対象農家は約2,500件と想定している。蔬菜農家等については、それぞれ生産出荷組合などが組織化されており、国の事業の対象になると考えている。



## 9月定例会 議案審議 (追加議案)

### 副市長の選任について

**問** 西倉氏は長年副市長の重責を担ってきただけに、「変えていくところは変えていく」という田中新市長の市政運営のハードルになるのではないか。

**答** 今後の市政運営に当たり、私が選挙期間中に訴えてきた事柄や私が考える行政運営の手法などについては十分話をしており、理解を得ている。

### ごみ処理施設敷地造成工事請負契約の締結

**問** 一回目の入札が不調となった後に、事業者からどのような意見があったのか。

**答** 工事の品質や安全の確保、建設業界の担い手の育成を行う必要がある。また、会社を運営するための適正な利益の確保も必要である。



### 議員間討議

議会と執行部との情報共有を論点として議員間討議を行い、事業者や市民の意見をしっかりと把握することが大事である、関係者との信頼を構築することが大前提であり、今後はそういったことに留意しながら事業を進めるべきである、担当の常任委員長を通じて、議会へ相談し、開示する部分はしっかりと開示するべきである、といった意見が交わされ、議会として以下の3点について執行部側に申し伝えました。

- ・公契約条例に則した適正な対応を行っていくこと
- ・民間、市民、事業者の意見をしっかりと聞くこと
- ・必要な情報については、議会側と十分に共有を図ること